

事務局だより INFORMATION

チェンジを恐れなさい!

KIMASSI

KANAZAWA

Vol.106
January

KANAZAWA TOIYA CENTER QUARTERLY NEWS 2010年1月 金沢問屋センターニュース
URL <http://www.kimassi.or.jp/>

新年のごあいさつ

平成22年の経済見通し

富木理事長旭日双光章受章

井上三郎氏金沢市産業功労賞受賞

寅年男 大いに語る

第2回 (協)金沢問屋センター杯 県新人学童野球選手権開催

青年部会 黒川温泉&豊後高田「昭和の町」視察

うちのキラリンさん

第4回キマッシカップボウリング開催

第5回キマッシカップオープンゴルフ開催

第6期「金沢商人塾」例会報告

事務局だより



7月

●9日 新入社員フォローアップ研修(1回目)

●16日 理事会

1. 総務委員会より

(1) 景況調査について

(2) 不動産売買の経過報告について

(3) 駐車場造成工事と第3号倉庫(石織(株)跡地倉庫)解体について

(4) 第11駐車場の貸出について

(5) 第12、15駐車場の契約解除について

(6) 経費支払確認書について

(7) 組合員の入退会について

(8) 共同倉庫の貸出について

2. 組合運営委員会より

(1) 会館1Fトイレの洋式・ウォシュレット化について

3. 開発プロジェクトチームより

(1) 金沢ビジネスメッセ2009について

4. 事務局より

(1) 平成21年度委員会名簿について

(2) 第6期「金沢商人塾」について

(3) 理事による(協)青森総合卸センターへの視察研修について

(4) 監事の理事会出席について

(5) 民間企業と官公庁交流研修会について

(6) (有)ケーアンドケーの決算報告と会社整理スケジュールについて

(7) 問屋町内競売物件への住宅建設について

8月

●3日~6日

生活習慣病予防健診 [一般健診] 37社296名受診

●6日 理事会

1. 総務委員会より

(1) 駐車場造成工事について

(2) 金沢市との3丁目公園と終末処理場の用地交換について

(3) 4月から6月の収支報告について

(4) 組合員の脱退について

(5) 土地社屋の購入について

(6) 第11駐車場の分筆のための測量について

2. 厚生委員会より

(1) コロナワールド映画鑑賞券の販売について

(2) 第5回キマッシカップ・オープンゴルフについて

(3) 第35回商社対抗ソフトボール大会について

(4) 第4回キマッシカップ・ボウリングについて

(5) 女性社員研修会について

3. 組合運営委員会より

(1) 会館売上減少の対応策について

(2) 会館設備及び防犯灯の修繕・維持管理について

(3) 会館1Fトイレの改修工事について

(4) 会館利用者のインターネット回線の利用率について

(5) 会館4F会議室のキャンセル料について

4. 事業戦略委員会より

(1) 第11駐車場の看板の移設について

(2) 広報誌第105号の発行について

5. 事務局より

(1) まちづくり協定の改定について

(2) 「金沢商人塾」第6期開講式ならびに第1回例会の結果報告と第2回例会について

(3) IT経営セミナー参加のお勧め

(4) インターネット研修のお知らせ

●7日、10日、11日 生活習慣病予防健診

[付加健診] 6社9名受診 [簡易ドック] 16社63名受診

[日帰り人間ドック] 13社31名受診

●26日~28日 健康診断 51社 587名受診

9月

●7日 理事会

1. 総務委員会より

(1) 景況調査の集計結果について

(2) 運転資金特別融資について

(3) 緊急貸出制度について

(4) 共同倉庫の貸出について

(5) 問屋神社秋季例祭について

(6) 第16駐車場の歩道の切り下げについて

2. 厚生委員会より

(1) 第5回キマッシカップ・オープンゴルフについて

3. 組合運営委員会より

(1) 防犯灯の設置について

(2) 町内一斉清掃について

4. 開発プロジェクトチームより

(1) (株)アルプよりの土地購入の申し入れについて

5. 事務局より

(1) 理事による(協)青森総合卸センターへの視察研修について

(2) 商団連事務局長会のセミナー報告について

10月

●5日 理事会

1. 総務委員会より

(1) 緊急貸出制度について

2. 厚生委員会より

(1) 第35回商社対抗ソフトボール大会について

(2) 第4回キマッシカップ・ボウリングについて

3. 組合運営委員会より

(1) 不燃物有料回収について

(2) 会館の修繕について

4. 事業戦略委員会より

(1) 今年度の事業について

(2) 北陸鉄道バス車内放送について

5. 交通安全対策協議会より

(1) 違法駐車取締りについて

6. 事務局より

(1) 全国卸商業団地厚生年金基金理事会・代議員報告

(2) まちづくり協定変更の締結について

(3) 「金沢商人塾」第2回例会の結果報告

(4) 第2回石川県新人学童野球選手権大会の開催と

当組合の支援について

●14日 町内一斉清掃

●15日 新入社員フォローアップ研修(2回目)

11月

●4日 理事会

1. 総務委員会より

(1) 中間決算について

(2) 新年互礼会について

(3) 建物の解体について

(4) 駐車場の造成について

(5) 景況調査について

(6) auの携帯電話基地局設置依頼について

2. 厚生委員会より

(1) 第4回キマッシカップ・ボウリングについて

(2) 女性社員研修会について

3. 組合運営委員会より

(1) 町内防犯灯の新設・修繕について

4. 事務局より

(1) 富木昭光理事長の叙勲受章と中小企業庁長官表彰について

(2) 商団連中部ブロック会議の開催結果について

(3) 「金沢商人塾」第3回例会の結果報告と次回の案内

(4) 問屋町内における火災防御訓練のお知らせ

(5) 金沢市が行う歩道整備工事について

(6) 石川県新人学童野球選手権の開催について

(7) 問屋町地区まちづくり協定(変更後)の送付について

(8) 新型インフルエンザ対策について

(9) 弓取川改修工事について

●5日 不燃物有料回収

住宅の建設を制限するため、まちづくり協定を変更

問屋町地区まちづくり協定の用途制限に住宅・共同住宅を加える変更については、問屋町内182人の地権者に対して同意をお願いしたところ、153人(84%)の同意書を受領することができましたので、10月15日に金沢市役所において、まちづくり協定変更の締結をおこないました。

当組合としては、今後とも金沢市と協力しながら良いまちづくりを行っていきたくと考えておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

編集後記

2010年を迎えて、最近感じたことを書き記そう。

NHKのスペシャルドラマで「坂の上の雲」の放映が始まった。この作品を制作するにあたっての企画意図は、現代の日本人に勇気と示唆を与えるためだそうだ。歴史や文学は、時代が移り変わろうとも普遍的な価値があることを教えてくれる。

現代の日本人は社会構造の変化や価値観の分裂に直面し、進むべき道が見えないのではなからうか。この作品に込められたメッセージは、日本人がこれから進むべき道を考える上で大きなヒントを与えてくれるに違いない。

さあ、皆さん! 初めの一步を踏み出しましょう!

一人ひとりが生き生きと輝くために。

そして新しい時代を切り拓いてゆこうではありませんか。

(N. M)

新年のごあいさつ

一つひとつの事業を積み上げて
愛される街、魅力ある街をつくる

協同組合 金沢問屋センター 富木 昭光



協同組合金沢問屋センター 理事長 富木昭光氏

富木理事長 旭日双光章受章

平成21年秋の叙勲で、富木理事長が旭日双光章を受章されました。これは、永年にわたり医療機器業界をはじめ当組合、石川県計量協会、石川県中小企業団体中央会等の要職を務め、業界の振興と発展に貢献された多大な功績が認められたものです。

その伝達式が、昨年11月6日(金)に、東京プリンスホテル「鳳凰の間」で行われ、経済産業大臣より勲記と勲章を授与され、その後、皇居宮殿の「豊明殿」で天皇陛下に拝謁し、ねぎらいと励ましのお言葉を賜りました。本受章につきましては、理事長本人はもとより、組合にとりましてこの上ない名誉であり、皆様とともに心からお慶び申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。平成22年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様には、清々しい新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

「チェンジ」途上の不安定感

「チェンジ」途上の不安定感。一「承知のとおり、最近の経済は一年のアメリカのサブプライム問題から発し、リーマンブラザーズの破産をきっかけに大不況の波が押し寄せ、さらにドバイショックで円高・株安の状態が一進一退の現状です。その間、アメリカのオバマ大統領が「チェンジ」を打ち出して、その影響かどうかはわかりませんが、日本も自民党から民主党の鳩山政権に「チェンジ」し、二酸化炭素の25%削減を打ち出すなど世の中の流れも大幅に「チェンジ」しそうです。しかしながら早急な景気回復は望むべくもないというのが実感です。デフレ、株安、円高、雇用不安が重なり、国の方向がはつきりしません。こういう時こそ声を大にして「自助努力」を強調すべきではないでしょうか。また、当り前の事を当り前に行い、人材を育てるべきだと思います。

特筆すべき明るいニュースとしては、松井選手がアメリカ大リーグのワールドシリーズで3本塁打を放つ

などの大活躍をして日本人初の最優秀選手(MVP)に選ばれたことです。一方で、新型インフルエンザの流行が世界を震撼させました。協同組合は相互扶助の精神、運命共同体としての中小企業の集まりであり、このようなときこそ、「組合員のために組合が何をできるのか」、また「組合がどのようにチェンジしていったらよいか」、このことを真剣に考えなければならぬと考えております。

積極的に新しい街づくりを進める

積極的に新しい街づくりを進める。さて、昨年度の当組合の動きであります。土地の売買を何度か行いました。これまでも組合員の脱退などで購入した例はいくつかありましたが、新しい街づくりのために大変重要なことです。一方、役員改選で各委員長の交替もあり、新しい委員長のもと活発に動き始めたところです。昨年の実績として、一昨年に引き続き第2回石川県新人学童野球選手権大会を支援しており、特に昨年8月に神宮球場で開催された高円宮(たかまどのみや)賜杯全日本学童軟式野球大会において、石川県新人戦で準優勝した「西南部サンポイズ」が全国制覇を果たし47都道府県の頂点に立つという栄誉を勝ち取りました。石川県学童野球も益々盛り上がると思っておりますので、当組合も必

援していきたいと思っております。

具体的には、環境整備に積極的に取り組み地域住民から愛される、また、いろいろな企業が来なくなるような環境のよいきれいな街、従業員が楽しく働ける親しみのある魅力ある街づくりを目指したいと思っております。

また、一昨年に開催いたしました「ビジネスマッチング」の第2回目の開催についても前向きに検討し、内容を充実させて実りある形で実施していきたいと思っております。

その他にも、第7期目を迎える「金沢商人塾」やその他の新規事業にも取り組んでいく所存でございます。ですが、いずれの事業も組合員各位のご協力なしには為しえませんが、絶大なご協力をお願い申し上げます。次第です。

石川県をはじめ金沢市ならびに関係各機関の皆様方には、当組合のさらなる飛躍のために、一層のご指導ご支援を賜りますようお願いいたします。ご健勝とご発展をお祈りいたします。年頭のご挨拶といたします。



平成22年の経済見通し

景気の緩やかな回復は見込めるものの
地方の状況は依然として厳しく

株式会社北國銀行問屋町支店 支店長 小西 利之



新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、さわやかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また昨年は格別のご愛顧賜りましたことを深く感謝いたします。

平成21年を振り返って

さて、平成21年は一昨年のリーマン・ブラザーズの破綻を機に、米国に端を発した金融危機が世界経済を後退させ、あらゆる面で後退局面からのスタートとなりました。そのような中、米国ではオバマ新大統領への期待が高まり、大企業の破綻処理、経済回復に向けた施策に注目が集まりました。その米国経済を見ますと、上半期は実質GDP成長率がマイナスでしたが、後半からは、自動車購入支援策や住宅取得減税などの景気対策に支えられ、個人消費、住宅投資が増加したことが主因でプラスに転じました。一方で、金融機関の不良債権問題は

依然として道半ばであり、証券系の大手金融機関は順調な回復をみせているものの、商業用不動産向け融資の焦げ付きの急増から大手商業銀行、地方銀行は多額の貸倒引当金計上が続いており、収益は悪化しています。また失業率の上昇は続いており予断を許さない状況であります。

欧州経済は米国同様、後半からはプラス成長をみせていますが、ドイツ、フランスといった回復基調が鮮明な国と、英国のように未だマイナス成長を続ける国と景況感の違いが出ています。アジア経済は総じて回復基調を辿っています。特に中国は建設投資による景気対策の効果が持続しており、住宅投資、個人消費も伸び、輸出の緩やかな回復を受けるなど、内需を中心に回復基調を強めています。中国の実質GDP成長率は、政府による景気対策効果により年の前半から大幅なプラス成長をみせました。その他アジア諸国では、中国景気の回復に恩恵を受ける格好で輸出を中心に回復基調を強めています。

このような世界経済の動きの中、日本経済では年初より世界経済の低迷から円高が進み、輸出産業の後退による生産調整、雇用調整を強いられるなど、景気後退を余儀なくされた結果、企業収益の悪化による株価低迷、税収減からの財政不安も高まり、日本経済の景気悪化懸念が広がりました。

平成22年の見通し

平成22年につきましては、日本の実質GDP成長率は現在緩やかながら回復していますが、輸出・政策効果に依存した景気持ち直しという状況の中で、海外景気のリバウンド効果が一巡すると見込まれること、消費刺激策を中心に一部経済対策の景気押し上げ効果を出してきましたが、企業の設備・雇用の過剰感はまだ高く内需への波及は依然限定的であり、雇用・所得環境の悪化による個人消費低迷が続くと見込まれること、公共投資の減少による息切れが今後見込まれること、急速に進んだ円高による悪影響が徐々に顕在化することが見込まれる

しかしながら、公共投資の前倒し政策、エコカー減税・補助金およびエコポイントによる消費政策、中国、米国の経済持ち直しによる輸出産業の底打ちもあり、一部に持ち直しの動きがみられ、住宅・設備投資、雇用面での好転はみられないものの、年の後半から景気は回復基調に転じてきました。そのような中、自民党から民主党への政権交代による政策見直しなど国内の動きは激しいものとなり、財政支出削減による景気停滞懸念、11月には景気持ち直し局面での政府によるデフレ認定、さらに円高が伸展するなど、平成22年に向けて景気後退の不安要素を残しながらの一年となりました。

金沢市産業功労賞受賞



金沢機工(株) 会長 井上 三郎氏

永年にわたり、機械器具卸売業に携わり、県鉄工機電協会見本市委員長として機械工業見本市金沢などの開催に尽力されました。県金属商業(協)理事長、県機械工業厚生年金基金理事長などを歴任し、機械設備・省力化機器の販売などを通じて北陸のものづくり業界の競争力の強化に努め、地域経済の振興発展に寄与されました。

ることから、年初においては、景気減速が加速する可能性が強いと予想されます。また、政府、日銀によるデフレ解消に向けた対策の実施が遅れると景気減速の長期化も懸念されます。しかしながら、年初からの景気減速も年の後半には回復基調に転じるものと見込んでいます。その理由として、米国内の緩やかな回復、アジア経済、特に中国の経済成長の持続、円高の影響が後退することによる輸出回復が日本経済の牽引役として存在感を増すと見込まれるからです。また4月から本格化する生活支援の政府経済政策が消費下支え要因として作用すること、また景気の回復による生産能力・人件費調整が一巡し、調整に伴う設備投資、雇用・所得抑制圧力が緩和されることによる消費の拡大も期待できるものです。以上より、世界の他の国々に比べれば景気回復のスピード感は鈍いものの、本年一年を通してみれば、景気の緩やかな回復は見込めるもので、金融市場で懸念されている「景気二番底」についても、リーマンショック直後の景気を下回る水準だとすれば、回避されると予想されます。こと地方である当地経済においても、昨年の後半から製造業を中心に一部で持ち直しの傾向はあるものの、中小企業が大半を占めており、大企業に比べて生産調整・消費低迷への対策・改善余地も少ないことから現在も倒産件数が増加傾向にあり、景気底打ち感はないとの意見も聞かれ、やはり経済回復基調に乗り遅れていることは否定できません。そのような中、われわれは地元金融機関としてこの景気後退局面の中、組合員の皆様とともに地域経済を支え、そして地域経済活性化のために努力していく所存です。年頭にあたり、皆様のご繁栄とご健勝を祈念いたしますとともに、本年も昨年同様にご指導賜りますようお願い申し上げます。

※昨年12月初旬に、寄稿いただきました。

寅年 大いに語る



社名とともに



株式会社トルハート
代表取締役社長 庄田 勲

新年明けましておめでとうございます。当社も問屋団地で37回目の新年を皆様方とともに迎えられることを心より感謝申し上げます。

昨年は野球のWBCの2連覇に始まり、yes we canでチエンツシタ米國オバマ大統領が誕生し、日本でも政権交代が起こり景気回復に期待がもたれました。7、9月のGDPがプラスになり貿易収支も黒字を

確保、一部の大企業の在庫調整が順調に進み、またエコカー、エコ家電による補助金等の経済対策の効果も出たかのように言われますが、我々中小企業にはあまり実感がなかったように思います。

昨年11月に政府のデフレ宣言があり「二トリ」「ユニクロ」「しまむら」等の価格割安商品が主力で売れているデフレ傾向の中では、生活実態はマイナスに感じられます。12月1日には昭和21年以来63年ぶりに税収を国債発行が上回る異常事態になり、特に法人税は10兆5千億円が5兆円と半分に落ち込むと報道されました。

当社は建築建物の内装仕上げ材

(インテリア商材)の卸問屋として沖縄返還の昭和47年の夏に金沢市芳野町より問屋団地に移転してきました。建設業界は昭和30年後半より緩やかな右肩上がりが続いている最中でした。30年代に国策による炭鉱閉鎖の人員を受け入れ、40年代には米國との貿易摩擦の緩和のために内需拡大を迫られ、毎年10兆円の追加公共投資をしたために業界は膨張し何万もの会社が増え、百万人以上の建設従事者が生まれ、平成のはじめにバブルとともに頂点を迎えました。

バブル崩壊後は、建設会社、不動産業者、マンションデベロッパーの倒産、政府の建設公共投資の見直しがあり、さらに平成20年9月のリー

マンブラザーズ証券の破綻をきっかけに世界同時金融不安が起こり、14年ぶりとなる円高が進み1ドル90円割れとなりました。景気の悪化とともに住宅着工件数も年間170万戸から120万戸を割るうとして建設業界です。市場の縮小が急速に起こり価格競争がますます激化しており、多くの企業が退場を余儀なくされているのが現状であり、不況業種のナンパワゴンにあげられます。

建設業界は今も先行きが不透明なスタートになりますがGDPのpostにて「明るく」「大きく」「はつきりと」をスローガンに将来に希望を持ち、社員と一丸となって社名とともに前に向かって進むつもりです。このような時代だからこそ、社名のごとく「誠実」に社業に励み、住空間を通して社会に貢献できる企業でありたいと願っています。

最後になりますが、皆様方の会社の発展を心からお祈り申し上げます。

初心に返って



弘進コム株式会社
代表取締役社長 今井 仁

明けましておめでとうございます。日ごろは何かとお世話になっております。この場を借りて御礼申し上げます。

前回の年男のとき原稿を頼まれてお断りしたところ、それでは次回お願いいたしますとわれお約束いたしました。今回は遺言ですとねと言われてピンと来なかったことを覚えていま

す。まさに光陰矢の如しであります。

弊社におきましても、機械関係の工場勤務だった父が起業したのが昭和24年の9月1日。その父も還暦を前にして他界してしまい、それまでいろいろ試行錯誤していた私が本格的に家業を継いでから早30年。社長就任と同時に絶対苦労はさせないと結婚した妻には苦労のかけつけばなしで、頭が上がりません。今では「さん」付けで呼んでおります。

振り返り見れば、昭和から平成にかけて、バブル崩壊や新政権発足などいろいろなきがかりがありました。その時20数社あった履物問屋も今は3

分の1、当問屋センターにおいても然りです。当時まず県内のこの業界の回収の悪さに驚かされました。従って新規開拓はなるべく金物、食品関係等々異業種を積極的に回りました。その時間拓した官庁、学校、JAや合羽手袋等の新規メーカーとの取引、今となっては良い勉強になったと思っております。

世の中には石橋を叩きすぎて渡る前に壊してしまうほど慎重な人もいれば、「見る前に跳べ」的な人もいます。私はどちらかという後者の方で、某大手HCに参入したときもそうでした。諸事情により撤退する時は300店舗は優に超えていま

した。あの時突っ走っていたらどうなっていたかと時折思うときがあります。長いような短いような、紆余曲折しながらもここまでこれたのも周りの皆様の助けがあったからだと思えます。

最後に今年還暦を迎える私が生まれたのが昭和25年7月14日。前述の父の起業の日から考えるに、やはり社業を継ぐDNAが注がれていたのかも知れません。あの時起業を決めた父のように、一からは始めるつもりで心をクリアにし、新たな一年を邁進していきたくと思えます。

ポジティブに考え 行動していく一年に



成瀬電気工事株式会社
常務取締役 成瀬 栄三郎

新年明けましておめでとうございます。皆様には日頃より大変お世話になっており感謝申し上げます。

リーマンブラザーズ等の金融大手が破綻したことに端を発し、世界経済に打撃を与え日本においてもなか

なか景気の回復が実感できない中、昨年は政権交代がなされるなど、この国において歴史に刻まれる一年でありました。

社業においては相次ぐ取引先の破綻など試練の一年となりました。私どもの建設産業は景気の低迷による建設投資の減少、建設業者数と建設投資のバランスの崩壊など市場の大きな構造変化の中で、非常に厳しい経営環境に直面しております。これからは顧客に対してより誠実に接し、また勇気を持って変えるべきものを変えていかなければならないのではないかと考えております。

さまざまな方々とのすばらしい出会いの中で、「自分に解決できない問題は、自分の前には現れない」というてくだされた先輩があり、自身自身のレベルに応じて目の前に現れる問題も大きくなっていくのだとおっしゃっていただきました。私は今年36歳の年男になります。人生、生きていく上で会社に、また自分に降りかかる問題は尽きないのだと思います。その壁が大きければ大きいほど自分が成長できたと考え、その課題を真摯に受け止め前向きに一つひとつ乗り越えていきたいと思います。ゴルフに例えるならミスをして林の

中に入ってしまったその状況をまず受け入れ、トラブルを経験できるチャンスと前向きに捉えてショットし、そこで得た経験が必ず今後のゴルフの上達に繋がっていくように、社業においても自己の成長においてもポジティブシンキングで今年一年精進してまいります。

最後になりますが、皆様方のご発展を心からお祈り申し上げますとともに、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(協)金沢問屋センター杯

第2回 県新人学童野球選手権 開催

決勝戦は加賀VS富来ますほ

当組合が協賛する、第2回目の石川県新人学童野球選手権が昨年10月31日(土)、11月3日(火・祝)に開催されました。この大会は組合完成40周年を記念して一

は、前回優勝の相見クラブから優勝旗が返還され、県学童野球連盟の舘場夫会長の開会宣言に続き、当組合の富木理事長より挨拶がありました。その後、「富来ますほクラブ」の屋敷達哉主将が選手代表として健闘を誓いました。

最終日の3日は小松市の小松ドームで準決勝、決勝が行われ、決勝では「加賀クラブ」が「富来ますほクラブ」を11-5で破り、2代目の王座に就きました。

決勝戦の後に行われた閉会式では優勝旗、優勝カップなどのほか、富木理事長から優勝チーム一人ひとりに「キマッシカナザワ」のマークの入った記念のメダルが授与されました。

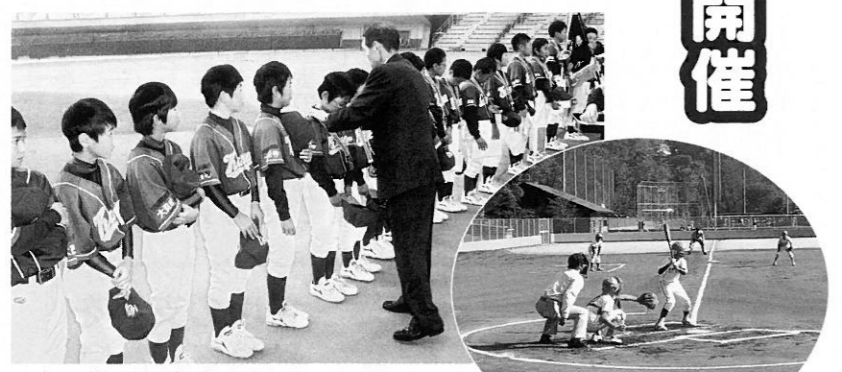
今年も引き続き、組合を挙げて大会の支援を行ってまいりますので、試合の観戦を含めて、皆様の応援をよろしくお願いいたします。



第2代目の王者は加賀クラブに決定。

昨年からの開催を始めたもので、これからの日本を背負って立つ青少年の「心・技・体」の育成を担うという意味を込めて、10年間当組合が支援することを決めた事業です。

10月31日に行われた閉会式で

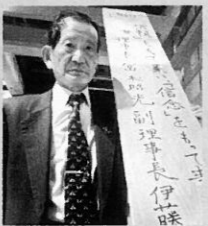


富木理事長から優勝チームの一人ひとりにメダルが授与された。秋晴れの空、沸きあがる歓声。

金沢城公園の河北門復元整備事業の「壁板記名会」に参加

金沢城公園の河北門の復元整備は、平成19年に着手し今春の完成を目指しているところですが、当組合にも県民参加による城づくり推進事業への参加協力依頼があり、壁板の寄進を申し込みました。

10月14日に「壁板記名会」があり、富木理事長が直筆で長さ3.5メートル幅30センチの壁板に組合の基本理念「信頼をもって集い、信念をもって事業を展開し、社会的信用を培う協同組合金沢問屋センター」と記名しました。



女性社員研修会

今年度で3回目の研修会は、11月28日(土)、29日(日)に寺町「つばき」で行われました。

今回は最初に抹茶をいただき、その後、女将の話(歴史、マナー等)、料理長から料理の解説をしてもらいました。特に女将の話が好評で、マナーとは「おもいやりの5文字」ですという言葉が心に残り、参加者は満足して帰途に着きました。



青年部会 黒川温泉&豊後高田「昭和の町」視察

株式会社コシハラ 越原 寿朗

昨年2月に開催された講演会で、講師の黒岩祐治氏が人を惹きつける魅力ある町として熊本県の黒川温泉と大分県豊後高田市の昭和の町を挙げられました。今回はその魅力・マグネット力を実際に体感しようとして九州地区へ行くことにしました。

黒川温泉までJRとレンタカーを乗り継いで約7時間半。博多・熊本方面から距離がある割には公共交通手段が極端に少なく、決してロケーション的に恵まれているとは言えず、こんな片田舎にマグネット力があるのか一抹の不安が過ぎりました。黒川温泉では元組合長で山河旅館の社長でもある後藤健吾氏に黒川温泉の事情について説明頂きました。全体で23館の宿泊施設があり1500名名の収容が可能。近年は国内でトップクラスの集客率を誇っています。が、80年頃は右肩下がりで落ち込み、ひなびた温泉街



の相を呈していたそうです。そんな中で唯一集客を伸ばしていた「新明館」の館主・後藤哲也氏は、趣のある風呂と庭に特化した経営ノウハウを行く末に危機感を感じていた次代を担う若手経営者達に快く伝え、温泉街全体で趣のある風情を演出し、全国からの集客に繋げたそうです。さらに、それぞれ特徴のある他旅館の風呂が利用できる入湯手形を販売し、これが各旅館や組合の大きな収入源となつてさらなるインフラ整備に資本投下が可能になったのも発展の一因とのことでした。温泉街に入ると道幅が狭く、温泉全体が庭のようで浴衣姿がとも似合う情景を作り出していました。私達が宿泊した新明館は木造の古びた宿でしたがお風呂が最高で、哲也氏が若いころ裏山の岩を手で掘った岩風呂や中腹に作った風の湯、庭の中の露天風呂等、情緒溢れるお風呂を満喫しました。接客は決して洗練されたものではありませんでしたが、一生懸命もてなそうという強い気持ちを感じられました。加賀や和倉とは違った心落ち着かせる街の雰囲気とおもてなしのサービスが調和したホスピタリティに、強いマグネット力を実感しました。

2万3千人の小さな市で、深刻な過疎化対策として試みた昭和をテーマにした町おこしが功を奏し、観光客数の増加に繋がったということでした。町は非常にコンパクトにまとまっており、メインストリートには間口のみを昭和風に改装したり、異業種が出店した昭和の香りが漂うお店が軒を連ねていました。中心部にはその昔大分県一番の大金持だった野村財閥が所有していた蔵を改装して、駄菓子や昭和の生活を再現した博物館が設置されていました。全体的に長浜の黒壁に雰囲気似ている気がしました。こちらには有償でご案内する方があり、各店舗を案内する際は案内人が店主の方々と面白い掛け合いをしながら観光客を喜ばせ、ついでに何か商品を買ってもらおうというシステムのようなものでした。金谷氏も超ベテランの案内人で、あの巧みな話術は観光客を惹きつけるのに十分な魅力がありました。ただ、町全体の昭和のコンセプトとしてはやや中途半端な感があり、コンテンツの更新も限界にきていると思われ、リピーターの確保が今後の課題だと思いました。こちらはハードで作上げた昭和よりも運営するマンパワーがマグネット力だったように感じました。

第4回 キマツシカップ ボウリング大会

第28回商社対抗ボウリング大会

第4回キマツシカップ・ボウリングは、10月8日(木)に、20社38チーム114名(男性74名、女性40名)が参加し、マンボウ金沢において行われた。昨年度に引き続き、会場を貸し切った開催となった。

【団体の部】 2年連続
優勝 (株)オータニ 898点(平均得点150点)
準優勝 理光商事(株)A 849点(平均得点142点)
第3位 理光商事(株)B 848点(平均得点141点)

【個人男子の部】
優勝 小山直輝 (株)つくーるB 457点(211点・246点)
準優勝 平野 智宏 理光商事(株)A 370点(182点・188点)
第3位 斉藤 佳夫 (株)オータニ 350点(169点・181点)



小山直輝さん

【個人女子の部】
優勝 川本 祐子 北陸通信工業(株)B 302点(173点・129点)
準優勝 駒井 英津子 (株)オータニ 300点(139点・161点)
第3位 水尻 豊美栄 沢の鶴(株) 291点(159点・132点)



川本祐子さん

第6期「金沢商人塾」例会報告

第2回 部下を本気で叱る上司にならない上司 上村光強氏

【日時】9月26日(土)

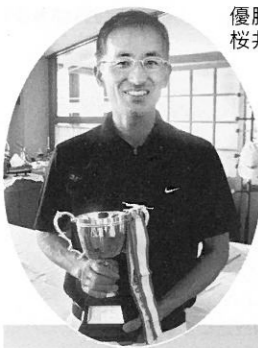


「人と企業の本気力を高める」をテーマに多数の講演実績をもつ上村氏を招いた。氏はエンパワリング

「自らが力の源泉」となってメンバーの意欲・能力・自立心を引き出し、組織力を極大化することが、競争化社会においては欠かせないという。本気力の高い人は、自己責任型の思考パターンを持つ。①「自分にも原因がなかったか?」、②「自分が何をすべきか?」を常に考えながら、③「自分は何のために働いているか」と自問し発信する「ミッション力」④会社のメンバーは可能性を持った存在であると信じる「信頼力」を持たなければいけないと強調した。

第5回 キマツシカップ オープンゴルフ開催

第5回キマツシカップオープンゴルフが9月6日(日)に、24社17組65名が参加し、ゴルフ倶楽部金沢リンクスにおいて行われた。競技はダブルペリア方式で行い、参加者は各々腕を競い合った。



優勝の桜井岩男さん



【結果】

	OUT	IN	グロス	ハンディ	ネット
優勝	47	42	89	15.6	73.4
準優勝	36	44	80	6.0	74.0
第3位	39	39	78	3.6	74.4

各地の支店を訪ねてみたい



(株)トルハート 中里 和寛さん

入社して約2年間配属されていた総務・経理は会社を動かす部署、現在いる受注センターは会社のコアな業務を担っていて、どちらもおもしろい仕事です。注文を頂いた商品が何か理解して的確に発注を出す、そこまでスムーズにできるようになるのが大変でした。約1年経ってひと通り商品をわかるようになったつもりですが、壁紙や床材が現場でどのように貼られるのか施工のことなども勉強しなければいけないですね。東北や関東にある支店も見てみたいです。

今やりたいことは、南の島でボケ〜と過ごすこと。昨年新婚旅行で行ったバリ島へもう一度行きたいです。

うちのキラリンさん 問屋町にお勤めの元気な社員の方をご紹介します

ロープの美しさに魅せられちゃった

(株)土谷九兵衛商店 小林 茉紗子さん



「社長の奥様と同じ名前だから」という理由で採用していただいて7年目…複数いた女子社員も現在は私一人のため、必然的に看板娘(笑)になってしまいました。会社のイメージにも影響しますので、笑顔で丁寧に対応することを心掛けています。当社のメイン商材であるロープには、入社するまで興味もありませんでしたが、今では燃りのキレイさに見入ってしまうこともあり、新たなロープの魅力に気がきました。これからは装飾などでも使われる機会が増えていくといいなあと思います。その第一歩として昨年10月に行った自分の結婚式にはロープを使ったウェルカムボードを作りました。

きは②だ。①はスペシャリスト向きであり、②は裏を返せば、仕事をよくやらない人は嫌い、であり、幹部は③では駄目だ。④と⑤の違いは人間を理解する深さであり、⑥は相手の持つ能力の活用はできるが、⑦は相手の潜在能力まで引き出すことまでできるからである。また、「人間は困難があつてこそ磨かれる」「失敗」と書いて「成長」と読む」など大変参考になる内容だった。

第4回 利より信の道を生きて 愛のある組織を目指して 久保 華園八氏

【日時】11月28日(土)



北九州を中心に美容室を経営する久保氏に講演をいただいた。仕事をする人のなかには、言われたこともできない人、言われたことだけはやる人、楽しく働く人という。楽しく働く人には明るいという特徴があり、明るい人、物事を簡単に考える人、目標が高くなる人、その分、努力の量が多くなる人、結果が高くなる人、幸せになる人。また「利より信の道を生きて」という言葉を特に強調し、経営者は周りの人を幸せにする経営をしないとダメだと述べ、自社で実践している具体的な方法などを交えながら、お客様、取引業者など五方向に対しての接し方・取組み方のポイントを話された。

第3回 人を動かす力 会社を強くする力

「自分」を磨き時代を乗り切る 大塚 徹氏

【日時】10月17日(土)、18日(日) 於：湯涌創作の森



恒例となった泊りがけの講義。600社以上の企業を再建した実体験をもとに、輝く企業は幹部によって作られる、などの話ももたらした。①仕事が好き・人間は好き・②仕事が好き・人間も好き・③仕事が好き・仕事をよくやる人間が好き。3タイプのうち、幹部が目指すべき

今後のスケジュール 第6回 平成22年2月20日(土) 講師/静岡大学名誉教授 小和田 哲男氏 『徳川家康の生き残り戦略』